



大網ロータリークラブ Club Weekly Bulletin



- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日（12：30～13：30）
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網 450-6 ユアサビル 2 階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：石田 英世 幹事：高野 祐二
- 広報・公共イメージ向上委員会
委員長 大越 将司・会報担当 石田 英世

2024年7月10日(水)

第26巻第 2号

通巻第1076号

<http://www.oamirotary.com>
E-mail : rc@oamirotary.com



本日の例会

点 鐘 会長 石田 英世
ソング それでこそロータリー
会長挨拶 会長 石田 英世
幹事報告 幹事 高野 祐二
プログラム
古西弘和ガバナー補佐訪問

ニコニコBOX

石田会長・高野幹事

1年間よろしく願います。

大越将司会員

お誕生日祝い、ありがとうございます。
最後の40代1年を楽しみたいと思います。

例会日	7月3日	6月19日
会員数	30	31
出席	19	18
欠席	11	12
M U	0	0
免除	5	7
出席率	80%	81%

会長挨拶

石田 英世 会長



本年 大網ロータリークラブは創立25周年の節目を迎えます。これを祝って25周年の式典を2025年3月16日に予定しています。15周年、20周年と訳があってそれぞれ中止となりましたが、3度目の正直。みんなで25周年式典を楽しみましょう。

さて今世界は大きく変わろうとしています。ロータリーも例外ではなく、国際ロータリーのステファニー・アーチック会長は継続と変化のバランスを取ることの必要性を強調し、「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれませんが、地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれませんが。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」とおっしゃっています。私もそう思います。

そこで当クラブでも好ましい変化をもたらす一つの方法として、多様性、公平さ、インクルージョン、すなわち“DEI”の原則を積極的に取り入れることを提案します。そして寒郡ガバナーのおっしゃる「寛容」の心を持って、みんなに接していけば居心地の良いインクルーシブなクラブとして成長していけ、きっと楽しいロータリークラブを実現できると思います。

Let's enjoy the 25th anniversary ceremony

7月誕生日祝い ・ 奨学金授与式



大越会員おめでとうございます。



ハオ シャンシャン さん

- ① 板倉達夫会員退会について
6月末日での退会を承認しました。
後日、前・現会長幹事で訪問する。
- ② 活動計画書製作について
活動計画書製作料 石田会員へ
7/3 本日お渡し 承認
- ③ 前年度決算・今年度予算書作成について
監査会予定 斉藤監査、大越前会長
星野前幹事立会いにて
7月10日(水) 11時
場所 事務局にて

2023-24年度 決算報告
7月17日(水)

石田会長、高野幹事にて予算書作成
7月17日(水)

- ④ 寄付金について
ロータリー財団寄付(クラブ予算より)
特別寄付(個人)
2024-25年度 泉恵子 会員
前年度のありがとうボックス繰越金が
10万円あり その差額分約6万円を
予算化する。承認
- ⑤ スリランカ(食料支援)寄付金の募金に
ついて

継続することに決定しました。
集金は、関谷国際奉仕委員長
集金日は検討します。

セミナー会議及び今後の行事予定

- ロータリー米山記念奨学委員会 委員長
セミナー
日時: 2024年7月13日(土)
受付時間 13:30
開始時間 14:00~
終了16:00 終了後懇親会を予定
登録料: 1名 7,000円 クラブ負担
場所: 三井ガーデンホテル 3F
天平の間
千葉市中央区中央1丁目11-1
TEL: 043-224-1131
出席者: 佐藤米山委員長
佐藤委員長のみ参加となります。
登録料はクラブ負担で、承認されました。

- 2024-25年度地区奉仕プロジェクトセミ
ナー
日時: 2024年8月24日(土)
受付 13:00~
点鐘 13:30~
終了 16:00
場所 三井ガーデンホテル千葉
千葉市中央区中央1-11-1
TEL: 043-224-1131

<出席者>

奉仕プロジェクト委員長 齊藤幸男さん
副委員長 綿貫一男さん
職業奉仕リーダー 清宮満巖さん
社会奉仕リーダー 矢部真一さん
国際奉仕リーダー 関谷清一さん
3名程度の出席を考えております。
調整は、委員長、副委員長にお願いして
おります。

国際ロータリーのステファニー・アーチック 会長は、2024-25年度会長テーマ「ロータリーのマジック」(The Magic of Rotary) を発表し、多くの人びとを救うロータリーの力を認識してこれをさらに広げるよう呼びかけました。

「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません」。1月8日、ロータリー国際協議会でアーチック2024-25年度会長は次期地区ガバナーにこう語りました。「それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック(魔法)を生み出すのです」

マクマリー・ロータリークラブ(米国ペンシルバニア州)の会員であるアーチック会長は、ドミニカ共和国で浄水器の設置活動に携わったときにロータリーのマジックを目にしました。そのとき、汚い水がフィルターに入り、反対側から透明な水が出てくるのを、二人の少年が見ていました。

「少年の一人が私の袖をつかんで、『もう一度魔法を見せて』と言ったのです」とアーチック氏。「もちろん、その浄水器が魔法なのではありません。浄水器を輸送し、設置し、現地のリーダーと協力してメンテナンスを行うために、私たちは懸命に活動しました。安全な水を簡単に入手できれば自分たちの人生が変わるということ、少年たちは知っていました。私が少しでもその力になれたと知ったことで、私の人生も変わったのです」

平和を優先する

アーチック氏は、ロータリーの行動計画を推進し、継続と変化のバランスを取り、平和のために活動するよう会員に促しました。2025年には「分断された世界を癒す」をテーマに会長主催平和会議を開催する予定となっています。

ロータリーには、平和センターのネットワークを通じて平和を促進してきた長い歴史があると、アーチック氏は述べました。世界各地の名門大学に拠点置く平和センターは、現在140カ国以上で活躍する約1,800人の平和フェローを育ててきました。トルコのイスタンブールにあるバチェシヒシユ大学に設置される最新の平和センターでは、2025年に第1期フェローが学業を開始します。

「ロータリー平和フェローシップは、紛争を終わらせ、予防するきっかけとなる平和・開発の専門家を世界各地で育成するために、20年以上前に始まりました」とアーチック氏。「この会議は、ロータリーの平和活動に焦点を当て、ともに学ぶ機会となります」

アーチック氏はさらに、ポリオ根絶へのコミットメントについても繰り返し触れ、ポリオプラス・ソサエティへの参加や、各地区でのソサエティの創設など、ポリオ根絶のために全力を尽くすよう次期ガバナーに求めました。

「地元の議員や政府のリーダーに連絡し、ポリオが現在も脅威であることを伝えて、ポリオ根絶への支援を呼びかけてください。ポリオは今も私たちの最優先事項であり、最大限のコミットメントが必要とされます。成すべき重要な仕事はまだ多くあります」

継続と変化のバランス

また、継続と変化のバランスを取ることの必要性も強調し、どちらもロータリー行動計画の原動力であると述べました。

「この計画は、ロータリーの最善のアイデアを捨てるのではなく、それを土台として築いていくもの」とアーチック氏。「私たちは、バランスを取るといふ難題に直面しています。自分たちを変えつつも、自分たちの真の姿に忠実であり続けなければなりません」

さらに、クラブでの体験を会員にとって魅力的なものとするために必要な対策を取るよう、ガバナーに求めました。「これは、皆さんの地区でのやり方を変えることを意味するかもしれません。地区が過去50年間に同じ方法で物事を行ってきたのであれば、おそらくそれを見直す時が来ているでしょう。地区内のクラブが活発に活動していない場合、または会員が減っている場合、地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ているのかもしれません。クラブや地区が長年変わっていないからといって、誰も変化を望んでいないわけではありません」

アーチック氏は、好ましい変化をもたらす一つの方法は、クラブで多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則を取り入れることであると述べました。

「行動志向の次世代の人たちをオープンな心で迎えていただけることを願っています。たとえ、地元クラブの典型的な会員とは異なるタイプの人であっても」とアーチック氏。「DEIを受け入れれば、共通の目的のために結束しやすくなります。ともに献身し、力を注げば、ロータリーは最も効果的で時代即した存在になることができます」